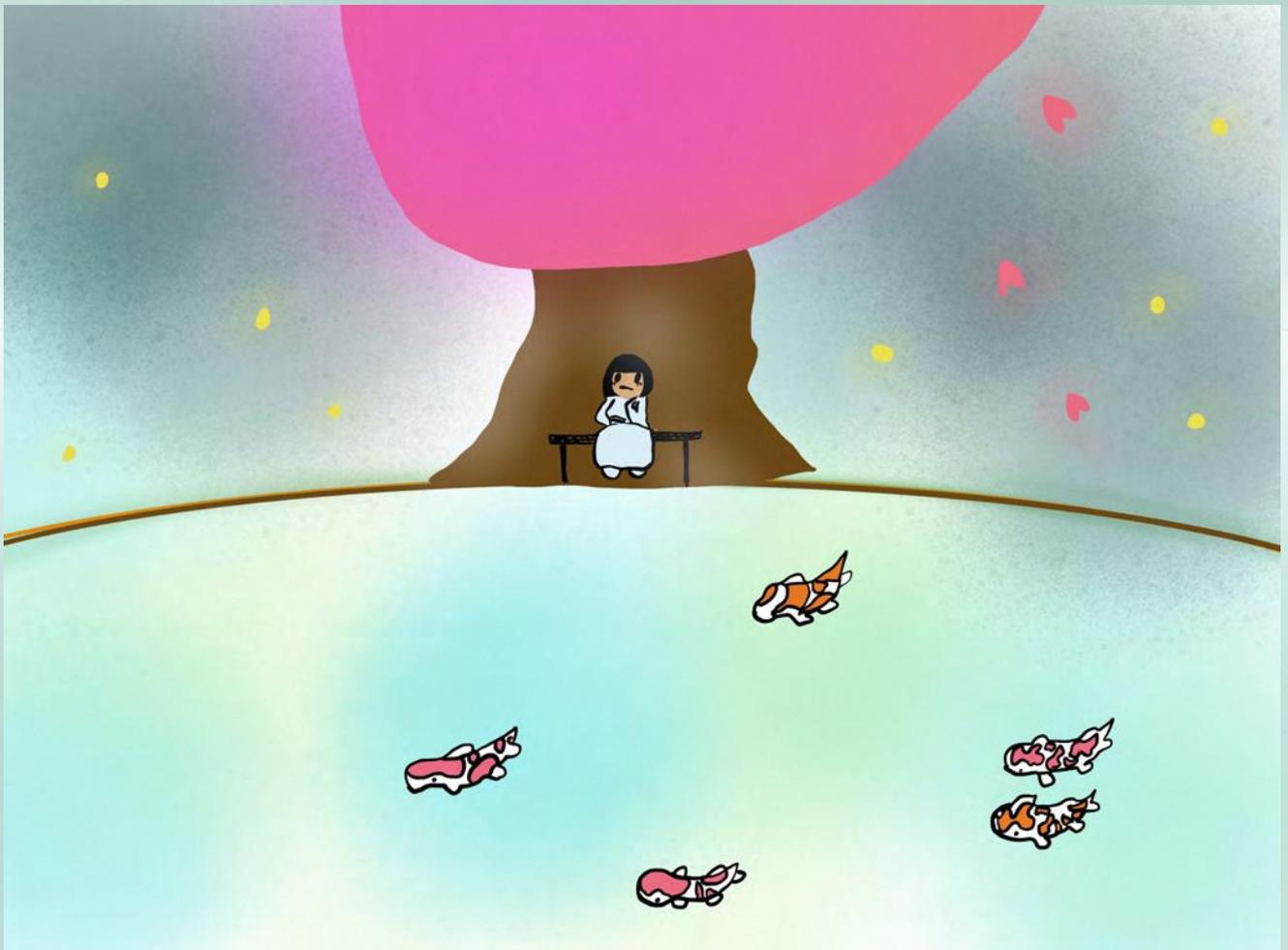


【村松地区の将来像】

虫 鯉 来い 桜 咲く 四季 を楽しむ

# ムラサキチック ドリーム



## 村松小学校区まちづくり計画

発行元 村松小学校区まちづくり協議会  
表紙イラスト 砂田 りんね (村松小学校)  
発行日 令和5年6月

## まちづくり計画とは

村松小学校区では、様々な世代・団体の方が集まって『みんなが町長超超会議（※下記掲載）』を令和3年11月～令和4年11月にかけて開催し、まちの未来について話し合ってきました。人口減少や少子化・高齢化など社会の状況は変化しますが、これからも暮らしやすいまちであり続けるために、話し合いの中で出た住民の皆さんの思いをカタチにしたものがこのまちづくり計画です。なお、このまちづくり計画は、必要に応じて見直しを行っていきます。

### ▶ みんなが町長超超会議の様子（まちづくり計画ができるまで）

第1回

町長になって村松小学校区の課題の解決策を考えよう①（R3.11.28）

ゲーム形式で、みんなで楽しみながら、村松にいて感じる悩みや村松のお宝、お宝を利用してお悩み案を話し合いました。

第2回

町長になって村松小学校区の課題の解決策を考えよう②（R4.6.26）

村松小学校区の“いいところ”や“心配なところ”について自由に話し合い、分野ごとの将来像を考えました。

第3回

まちづくり計画（案）と将来像を考えよう（R4.11.6）

「村松小学校区のまちづくり計画（イメージ）」を見ながら、6つの分野に分かれてまちづくり計画を確認し、地区全体の将来像や自分たちにどんなことができるかについて話し合いました。



## 村松小学校区まちづくり協議会とは

村松小学校区で活動する自治会をはじめとしたさまざまな団体や住民の皆さん同士が話し合い、チームとなって、地域にある様々な課題を解決するのが「村松小学校区まちづくり協議会」です。

表紙の「蛍鯉来い桜咲く 四季を楽しむムラマチックドリーム」を村松小学校区の将来像とし、できることから少しずつ、できる範囲で、住民の皆さんの想いをカタチにしたこの計画を実行できるよう、村松小学校区まちづくり協議会でまちづくりをしていきます。

## これまでご協力いただいた団体のみなさま

琴海地区連合自治会、戸根地区自治会、中自治会、上自治会、見上自治会、崎山自治会、鴨池自治会、松山自治会、脇崎自治会、学園台自治会、コスモビル自治会、村松地区自治会、村松区自治会、海陽の丘自治会、西海地区自治会、東自治会、中川内自治会、谷口自治会、松の迫自治会、平床自治会、つくも自治会、西海岳自治会、有道自治会、谷門自治会、風明自治会、琴海ニュータウン地区自治会、琴海ニュータウン1区自治会、琴海ニュータウン2区自治会、琴海ニュータウン3区自治会、大石地区自治会、大石自治会、琴海地区民生委員児童委員協議会、西海長寿連合会、琴海地域包括支援センター、長崎明誠高校、琴海中学校、村松小学校、村松小校区青少年育成連絡協議会、村松小学校区子どもを守るネットワーク、にしうみ保育園、（株）琴海みんなの公社、戸根桜組、村松小学校 PTA、おやじの会、琴海保育園

## つながり・地域活性分野

## 交流、行事



### 村松地区の現状・課題

#### 【いいところ】

- ・長生きする人が多くなった。健康長寿者
- ・自然が豊か
- ・(生活)環境がいい
- ・建家が増えている
- ・店が多い(充実している)
- ・まちの人が明るくて元気くれる
- ・交通(道路)は便利
- ・まつりを開催できる河川がある
- ・高校がある
- ・青果市場がある
- ・子育て世代が増えてる
- ・アパートが多くて便利

#### 【課題】

- ・自治会会員減少
- ・高齢者(弱者)の方などの避難が心配
- ・道路が狭く、子どもの通学路が危ない
- ・飲食店が少ない
- ・祭りや年中行事の継続困難
- ・(交流の場となる)公園少ない
- ・天気に左右されない遊び場がない
- ・海水浴場ない
- ・コロナ禍等で行事が少なくなった
- ・子どもたちの遊ぶところが少ない
- ・地域を中心としたレクリエーションの減少
- ・以前は行事ごとに交流が生まれていたが、現在は交流が減った。
- ・避難所の安全性が心配
- ・子ども会が少ない

### つながり・地域活性分野の目指す将来像

- ・人が集まるグローバルなまち
- ・安心安全なまち
- ・自然とともにくらしあう町
- ・世代を超えて普段から交流のある町



### 将来像を実現するために必要な取り組み

#### ➤ 引き続き取り組みたいこと(既存の取組み)

- ・自治活動
- ・広報ながさき(市・自治会)
- ・昔あそびを体験できるイベントがあった
- ・敬老行事で集まって交流した
- ・学校でSDGSの授業がある
- ・自治会で草刈りゴミ拾い
- ・公園の花だん整備
- ・川まつり

➤ 新たに取り組んでみたいこと(『みんなが町長超超会議』で出された意見(一部抜粋))

- ・SNS 等での宣伝
- ・語学教室(小学 1 年からやっている)→先生が地域の人と交流の場をもうける
- ・ICT・AI 化を進める
- ・伝統料理店を作る(伝統料理の再発掘)
- ・知らんぷりせず、自分事として考えてもらう
- ・防災無線の普及
- ・見守り隊の結成(琴海ニュータウンは作っている)
- ・月 2～3 回の訪問、見守り→引きこもり、認知症予防にも(高齢者の一人暮らし)定期的に行う
- ・地域住民全体で子供の見守り活動を行う
- ・ウォーキングコースの紹介。(例)長崎さるくコース
- ・川で安全に遊びたい
- ・つり公園がほしい
- ・ドッグランコースがほしい
- ・公園を整備して遊び場を作る
- ・全天候型の遊び場を作る
- ・県民の森を活用する
- ・定期的にイベント(住民・商店・販売所など参加)を開催する
- ・親子サイクリング大会の開催
- ・スケートボードができる場所を作って、大人も子どもも利用する(交流もできる)
- ・誰もが立ち寄れるコミュニティスペースを作る
- ・草刈りやゴミ、空き缶拾いなどに子ども達も参加してもらうよう呼びかける
- ・青果市場を活用して人が集まる場を(道のえきなど)
- ・SDGS のとりくみ(子どものときからするといい)
- ・ゴミ拾い×スポーツ
- ・漂着物を使ってハロウィン
- ・夏まつり(子ども～お年寄りが集まる)
- ・もちつき大会
- ・山登り整備(道や広場)
- ・朝市の復活(月に 1～2 回)
- ・他校区の子ども達とのウォークラリーの開催(以前尾戸地区で行っていた)
- ・昔遊びをしたい(お年寄りから教えてもらう)



## 歴史・伝統分野

ペーロン、まつり



### 村松地区の現状・課題

#### 【いいところ】

- ・ペーロン大会、54年の歴史！
- ・ボートの練習しやすい環境、すばらしい
- ・琴海高校→明誠、長い歴史があり、地元で多くの人が学んできた
- ・長崎明誠高校の柔道部は日本一になった選手がいてとても歴史のあるいい所
- ・戸根浮立
- ・琴海花まつり

#### 【課題】

- ・戸根浮立などの後継者育成が難しい
- ・コロナ対応
- ・ペーロンの選手不足
- ・少子化による入学生の減少。部活も人数が減り成り立たなくなっている
- ・指導者が少なくなり、部活動が継続できない
- ・ペーロン地元の選手少ない。他地区から応援で人を呼んでいる。

### 歴史・伝統分野の目指す将来像

#### ・伝統行事を続けていける町



### 将来像を実現するために必要な取り組み



#### ➤ 引き続き取り組みたいこと(既存の取組み)

- ・西海夏祭り(西海自治会)
- ・ペーロン大会(琴海ペーロン協会)

- ・にしうみ太鼓
- ・戸根浮立(3年に1回開催)
- ・香取神社のくんち。(傘ぼこ自治会毎に)

#### ➤ 新たに取り組んでみたいこと(『みんなが町長超超会議』で出された意見(一部抜粋))

- ・行事の存続のために自治会大切
- ・自治会加入率UP→老人会や子供会を存続させる
- ・行事は自治会がベースになっているので、自治会が盛り上がると伝統行事の継承につながる
- ・情報を知るきっかけ作り
- ・SNSの活用
- ・体験ペーロンの活用
- ・自治会活動のポイント制導入
- ・地元の活動と学校が繋がれば盛り上がる！
- ・明誠高校ボート部とペーロンのコラボイベント開催

- ・with コロナで開催できるよう行事内容を見直す
- ・新しいやり方を見つける
- ・体験ペーロン(地域の方が体験できる楽しい形に)
- ・ペーロン競争ではなく、参加しやすい楽しめる形作り
- ・ペーロンのPR活動強化！
- ・ペーロン新しい形を考えていく必要がある
- ・地区内でも知られていない行事あるので周知をする
- ・自治会毎のイベントをピックアップ
- ・村松小校区琴海カレンダー作成
- ・神社、石碑マップ作成



## 子ども・子育て分野

子どもを取り巻く環境



### 村松地区の現状・課題

#### 【いいところ】

- ・子どもたちが仲よし
- ・あいさつがよくできる
- ・お店の人が子供に優しい
- ・近所の人たちが優しい
- ・自然が多い
- ・山がある
- ・町の人々の声が反映される
- ・危険箇所の情報共有

#### 【課題】

- ・子ども達が集まれる施設やイベントが少ない
- ・親の関わりが減ってきている
- ・外で遊ぶ子供が少ない
- ・公園での遊具が少ない
- ・ゲームばかりする
- ・川はあるが遊べるほどきれいではない
- ・赤水公園でたき火ができるようにしては

### 子ども・子育て分野の目指す将来像

- ・体験型の遊びがたくさんある町
- ・おじいちゃんおばあちゃん世代と交流がある町
- ・子育ての相談を気軽にできる場がある町
- ・子どもが安心して暮らせる町
- ・自然を生かしたイベントがある町
- ・誰でも休憩できる施設がある町



### 将来像を実現するために必要な取り組み

#### ➤ 引き続き取り組みたいこと(既存の取組み)

- |          |             |        |
|----------|-------------|--------|
| ・部活      | ・ふるさと祭り     | ・鯉の放流  |
| ・放課後児童施設 | ・餅つき(育成協議会) | ・ゴミ拾い  |
| ・田植え体験   | ・スポーツ大会     | ・スイカ割り |

#### ➤ 新たに組みこんでみたいこと(『みんなが町長超超会議』で出された意見(一部抜粋))

- ・職場体験
- ・みかん収穫(農業、アスパラ)・高校のある地域をよく知りたい
- ・昔ながらの遊び道具作り体験。郷土料理も
- ・学生を集める場(平日)(検診の時など食に関するなやみ相談)
- ・検診以外でも集まれる機会をつくる
- ・地域の人たちが子どもたちを見守ってくれる
- ・子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで集まるイベントを開催



- ・子育てや子どものことについて相談できる場所を作る
- ・ウォークラリーをする
- ・川の清掃活動をする

- ・県民の森でキャンプ体験をする
- ・森で虫を捕まえたり、キノコがり体験をしたりする
- ・子ども食堂を作る
- ・スタバとマックを作ってもら



- ・子どもたちが遊べる道具(ボールなど)を貸し出しできる場所を作る
- ・子ども達への伝統行事の継承(節分、鬼火)
- ・外灯をつくる



- ・パレードをしてほしい。明誠高校柔道部など
- ・川、海の危険時の対応講習(服を着て泳ぐ等)
- ・鯉の放流(戸根川、西海川)
- ・温泉施設がほしい
- ・自然を体験することができる清流と棚田の里や、県民の森などを活性化させる。

## 自然環境分野

環境整備、景観



### 村松地区の現状・課題

#### 【いいところ】

- ・西海川に魚が多い
- ・戸根・村松、桜が多い
- ・戸根の桜、秋の彼岸花がきれい
- ・海・山・川、調和がとれている
- ・ランニングしやすい
- ・ウォーキングができる
- ・山から見る景色がきれい
- ・星空がキレイ

#### 【課題】

- ・「やすらぎの小径」の桜がPR不足
- ・川に魚道(西海)がない
- ・蛍のPR不足(戸根川)
- ・マスク・タバコのポイ捨て
- ・道路・河川、山手にゴミが多い。(特に人目につかない所)
- ・山にゴミを捨てる人がいる
- ・外灯が少ない ・イノシシが多い
- ・県道・市道に雑草など草木が多い
- ・自然を活かしたレジャー施設がない



### 自然環境分野の目指す将来像

- ・子どもからお年寄りみんなで美化に取り組むキレイなまち
- ・四季を感じ 地域みんなで自然を楽しむまち
- ・自然を活かし体験できるまち

### 将来像を実現するために必要な取り組み

#### ➤ 引き続き取り組みたいこと(既存の取り組み)

- ・自治会市民清掃
- ・PTA おやじの会(学校清掃)
- ・企業／商工会清掃
- ・戸根桜組の取り組み

#### ➤ 新たに組み組んでみたいこと(『みんなが町長超超会議』で出された意見(一部抜粋))

- ・人目のない山奥のポイ捨てをなくす
- ・県道、市道の草刈
- ・川に魚道をつくる
- ・四季折々で地域でできるイベントをする(花見など)
- ・生物、動物が住みやすい環境整備
- ・子どもから老人まで地域の清掃、美化に参加する(自治会に入っていない人にも周知する)
- ・小中高と協力して、一緒にゴミ拾いを行う
- ・明誠高校と一緒に花だんの植栽など行う(花いっぱいのもちづくり)
- ・戸根川の桜並木で地域みんなでお花見する
- ・やすらぎの小径の桜や戸根川の蛍のPR(掲示板の設置など)
- ・自然を活かした小中高タイアップしたイベント
- ・スポーツしやすい環境づくり(ランニング・ウォーキングなど)
- ・キャンプ場など自然を活かした施設作り
- ・ゴミのポイ捨て禁止のPR(掲示)





村松地区の現状・課題

【いいところ】

- ・地域の方々が優しい
- ・人々がやさしい
- ・子ども(学校)を応援してくれる地域の方が多い
- ・あいさつがたくさん飛び交っていて、子どもたちの見守りも多い
- ・自然が多い
- ・地域の人々のつながりが強い
- ・元気にあいさつをしてくれる
- ・先生が親切に教えてくれる
- ・子どもたちの安全への意識が高い
- ・おやじの会の活動がすばらしい！ありがたい！
- ・中学生の生活態度が真面目



【課題】

- ・1人暮らし用のアパートが少ない。高い
- ・ゴミ捨てるのマナーが悪い
- ・公園にゴミが多い。
- ・歩道が狭い所があって危ない
- ・道路整備が悪い
- ・草や木で通りにくい歩道がある
- ・公園の活用が少ない
- ・生活環境が交通手段等、地域で差がある
- ・友達と遊べる場所がほしい
- ・自治会へ入る人が少ない
- ・横断歩道がないところで渡る人がいる。
- ・自治会の仕組等、基本的情報がない
- ・自治会への加入方法が分からない
- ・横断歩道でスピードを出している車がある
- ・西海橋の所を時津方面より右折禁止しては？
- ・空家バンクが利活用されていない。悪事の巣になりかねない。←システムをもっと使いやすくしてほしい

生活環境・安全安心分野の目指す将来像

・誰もが安心して暮らせる町

・皆が魅力があるまち

将来像を実現するために必要な取り組み

➤ 引き続き取り組みたいこと(既存の取組み)

- ・デマンド交通
- ・自治会で市民清掃
- ・空き家バンク
- ・農地荒地対策農業委員会
- ・子どもを守るネットワーク
- ・横断歩道旗持ち(PTA)

➤ 新たに取り組んでみたいこと(『みんなが町長超超会議』で出された意見(一部抜粋))

- ・安心して遊べる公園を増やしたい！
- ・村松小校区の町内マップを作成する。
- ・誰とでもあいさつをする。
- ・地域間での交流をする。



- ・子ども、大人でゴミ拾いスタンプラリーをして、町をきれいにする。
- ・地コミ協議会の早期スタートに期待する。
- ・ゴミのポイ捨て防止について各学校へ標語募集
- ・高齢者の生活支援、家事、通院外出手伝い、草刈、墓掃除等見守りにつながる。
- ・交通マナー教室開催(高齢者サロンの中で)
- ・新しく横断歩道を作ってもら





村松地区の現状・課題

【いいところ】

- ・移動販売車がある ・畑などの生きがいがある
- ・帰り道、おかえりと言ってくれる
- ・国道沿いに施設やスーパーなど集中、便利
- ・高齢者の方が子どもたちの見守りしてくれる
- ・自治会とグループホームとの連携がとれている
- ・グランドゴルフが定期的開催されている
- ・子どもの声で元気になる
- ・デイサービスの方たちのサービスが良い(長崎市で一番！)

【課題】

- ・若い世代とあまり関わりがない
- ・施設や介護について知らないことが多い！
- ・高齢者の情報が少ない
- ・山間部は足がない
- ・自治会を抜ける世帯増
- ・バスが国道から外れるとない
- ・老人会がない地区がある(交流少)
- ・交流機会が少ない(高齢者間、世代間)

高齢者福祉分野の目指す将来像

- ・子供達と遊べる町
- ・サービスの多い町
- ・近所づき合い、気兼ねなく出来る町
- ・わかりやすい情報のある町
- ・交通便いい町
- ・バリアフリーな町
- ・トイレの数やベンチなど休むところがある
- ・車いすの人が困らない町
- ・高齢者が住みやすい町にしたい

将来像を実現するために必要な取り組み

➤ 引き続き取り組みたいこと(既存の取組み)

- ・保育園との交流(世代間)
- ・高齢者サロン
- ・グランドゴルフ
- ・民生委員の友愛訪問
- ・ニュータウン介護隊、見守り隊
- ・すこやか運動教室
- ・やぶこうじ(寿限無)
- ・デマンドタクシー



- ・福祉有償運送
- ・移動販売(とくし丸)
- ・配食サービス
- ・鯉の放流
- ・ゴミ拾い
- ・老人の体調を考慮した広報(耳、目、歩行 etc)
- ・花植え



➤ 新たに取組んでみたいこと(『みんなが町長超超会議』で出された意見(一部抜粋))

- ・スポーツイベントの開催
- ・琴海祭に地域の人参加する
- ・文通(独居高齢者と小学生など)
- ・日頃からの挨拶で見守り
- ・多世代交流のサロン開催
- ・安価で入居できる施設
- ・村松情報誌をつくる。
- ・避難所の場所などわかりやすい表現で
- ・ピザの配達をしてくれる→希望する人の数を調査する。配達の代行サービス

- ・ゲームセンターを交流の場とする
- ・車いす操作等の勉強会
- ・高齢者が活動できる場所
- ・施設があればいい(運動・筋トレ etc.)
- ・高齢者と子どもが交流できる場増やしたい(グランドゴルフ、ふれあい広場)
- ・バリアフリーの場所を増やす(車いすの方も移動しやすく)
- ・高齢者も移動しやすい交通手段。乗合タクシー
- ・病院を増やしてほしい

- ・見守り訪問マップ
- ・郵便局のサービス(補助金を活用して安価にできたらいい)
- ・独居、高齢者夫婦世帯の安否を確認できる手段
  - 情報が誰でもわかり使いやすくしたい
  - 広報誌に追加してもらおう
- ・老人会の研修旅行
- ・保育園、小学校、高齢者が月に一度でも交流する場を作りたい
- ・小学校の運動会で高齢者とリレーをする



## 歴史・伝統分野

ペーロン、まつり



### 村松地区の現状・課題

#### 【いいところ】

- ・ペーロン大会、54年の歴史！
- ・ボートの練習しやすい環境、すばらしい
- ・琴海高校→明誠、長い歴史があり、地元で多くの人が学んできた
- ・長崎明誠高校の柔道部は日本一になった選手がいてとても歴史のあるいい所
- ・戸根浮立
- ・琴海花まつり

#### 【課題】

- ・戸根浮立などの後継者育成が難しい
- ・コロナ対応
- ・ペーロンの選手不足
- ・少子化による入学生の減少。部活も人数が減り成り立たなくなっている
- ・指導者が少なくなり、部活動が継続できない
- ・ペーロン地元の選手少ない。他地区から応援で人を呼んでいる。

### 歴史・伝統分野の目指す将来像

#### ・伝統行事を続けていける町



### 将来像を実現するために必要な取り組み



#### ➤ 引き続き取り組みたいこと(既存の取組み)

- ・西海夏祭り(西海自治会)
- ・ペーロン大会(琴海ペーロン協会)

- ・にしうみ太鼓
- ・戸根浮立(3年に1回開催)
- ・香取神社のくんち。(傘ぼこ自治会毎に)

#### ➤ 新たに取り組んでみたいこと(『みんなが町長超超会議』で出された意見(一部抜粋))

- ・行事の存続のために自治会大切
- ・自治会加入率UP→老人会や子供会を存続させる
- ・行事は自治会がベースになっているので、自治会が盛り上がると伝統行事の継承につながる
- ・情報を知るきっかけ作り
- ・SNSの活用
- ・体験ペーロンの活用
- ・自治会活動のポイント制導入
- ・地元の活動と学校が繋がれば盛り上がる！
- ・明誠高校ボート部とペーロンのコラボイベント開催

- ・with コロナで開催できるよう行事内容を見直す
- ・新しいやり方を見つける
- ・体験ペーロン(地域の方が体験できる楽しい形に)
- ・ペーロン競争ではなく、参加しやすい楽しめる形作り
- ・ペーロンのPR活動強化！
- ・ペーロン新しい形を考えていく必要がある
- ・地区内でも知られていない行事あるので周知をする
- ・自治会毎のイベントをピックアップ
- ・村松小校区琴海カレンダー作成
- ・神社、石碑マップ作成

